

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・iシェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド（愛称：サクッと全世界債券）」は、2026年5月12日に第13期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第13期末（2026年5月12日）

基準価額	16,156円
純資産総額	11,061百万円
第13期	
騰落率	11.2%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記SBIアセットマネジメントのURLにアクセス
⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・iシェアーズ・全世界債券 インデックス・ファンド （愛称：サクッと全世界債券）

追加型投信／内外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第13期（決算日2026年5月12日）

作成対象期間（2025年5月13日～2026年5月12日）

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

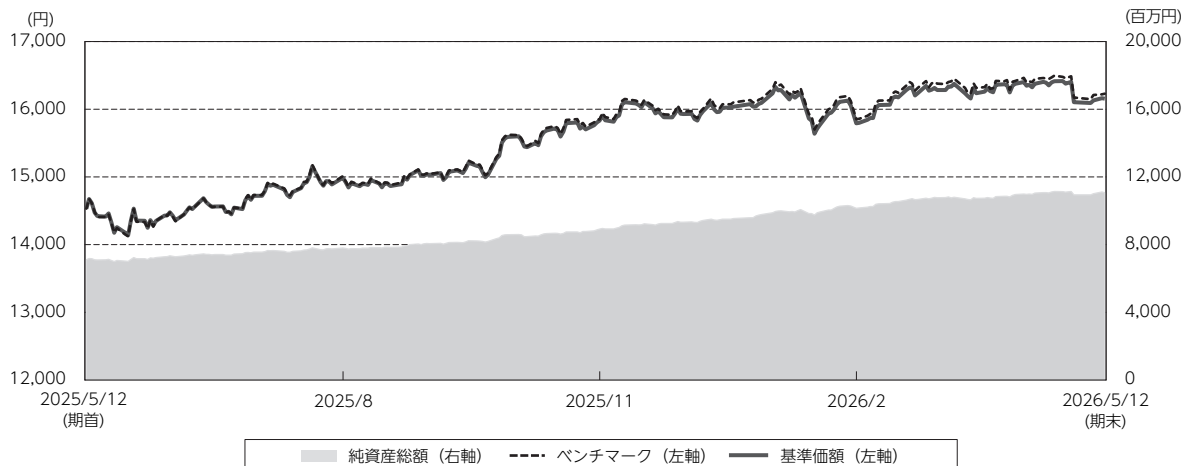
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

SBIアセットマネジメント
URL:<https://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年5月13日～2026年5月12日)



期 首：14,531円

期 末：16,156円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 11.2%

(注1) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (米ドルヘッジ) (円換算ベース) です。ベンチマークの詳細はP13をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、2025年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国におけるインフレ鈍化および景気のソフトランディング期待による金利の低下
- ・ 米国とともに世界各国の中銀が利下げサイクル入り (日本を除く)
- ・ 世界各国の国債からの高いインカムと金利低下による価格の上昇
- ・ 為替市場のドル高

下落要因

- ・ 米国のインフレ高止まりによる米連邦準備制度理事会 (FRB) の利下げペースの鈍化
- ・ 財政赤字の拡大
- ・ 米国によるイラン攻撃開始によるエネルギー (原油) 価格の上昇

1万口当たりの費用明細

（2025年5月13日～2026年5月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 10	% 0.064	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 4 ）	（0.024）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 4 ）	（0.024）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.015）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ － ）	（ － ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ － ）	（ － ）	
(d) そ の 他 費 用	4	0.025	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（0.006）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（0.007）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 2 ）	（0.012）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	14	0.089	
期中の平均基準価額は、15,543円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

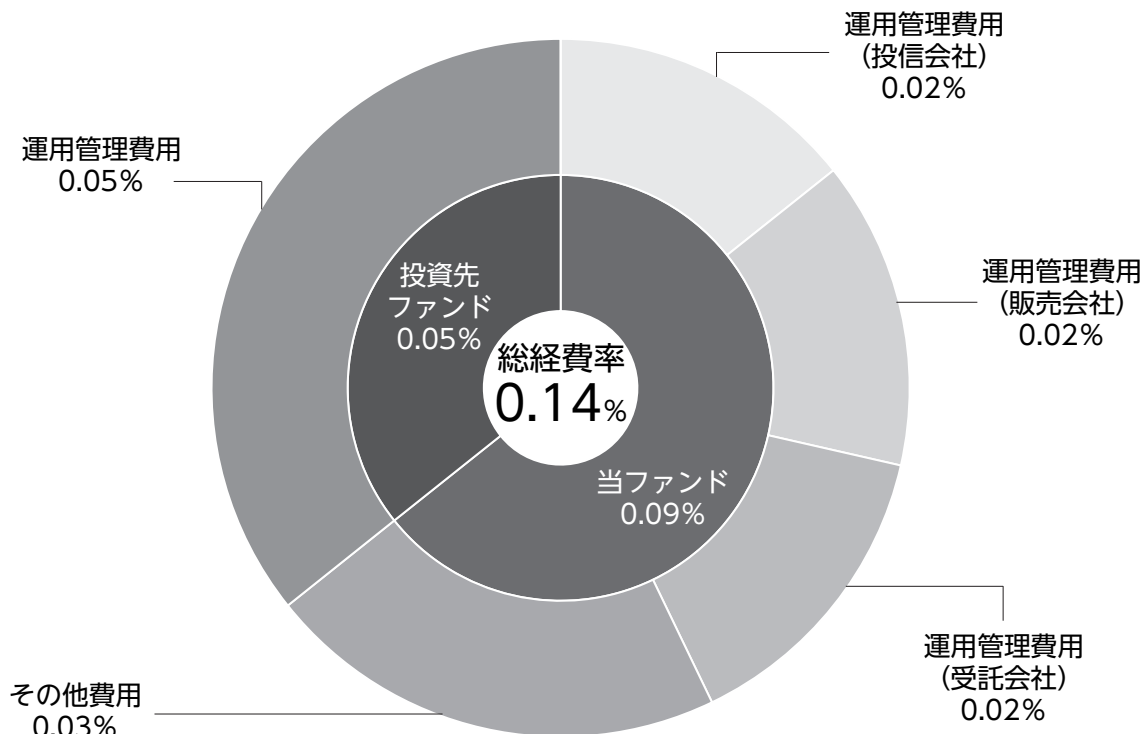
（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.14%です。



総経費率（①＋②）	0.14%
①当ファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注5）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

（注6）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年5月12日～2026年5月12日)



(注1) ベンチマークは、2024年2月9日まではFTSE世界BIG債券インデックス（円換算ベース）（参考指標）、それ以降がブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）（ベンチマーク）を基に算出した合成指数です。ベンチマークの詳細はP13をご参照ください。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2021年5月12日 決算日	2022年5月12日 決算日	2023年5月12日 決算日	2024年5月13日 決算日	2025年5月12日 決算日	2026年5月12日 決算日
基準価額 (円)	12,375	12,772	12,953	14,723	14,531	16,156
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	3.2	1.4	13.7	△1.3	11.2
ベンチマーク騰落率 (%)	—	2.2	2.1	15.6	△1.0	11.7
純資産総額 (百万円)	1,343	1,464	1,524	3,237	7,102	11,061

(注1) ベンチマークは、2024年2月9日まではFTSE世界BIG債券インデックス（円換算ベース）（参考指標）、それ以降がブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）（ベンチマーク）を基に算出した合成指数です。ベンチマークの詳細はP13をご参照ください。

(注2) ベンチマーク及び参考指標を基に算出した合成指数は、2021年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

（2025年5月13日～2026年5月12日）

<先進国債券市場>

2025年5月からの全世界の債券市場の動きは、インフレ鈍化期待と金融政策転換への思惑を軸に、金利低下圧力と構造的な上昇要因が交錯する形で推移しました。先進国では「利下げ開始時期」への期待と「財政・需給要因」への懸念の綱引きが続き、市場は方向感に乏しい相場展開となった一方、新興国では外部環境の変化に応じた資本フローの振れが顕著となりました。

2025年5月から夏場にかけては、米国を中心にインフレ指標の緩やかな低下が確認され、FRBの利下げ観測が強まったことから、米国債利回りは低下基調となりました。欧州でも同様にインフレ減速が確認され、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和姿勢への転換期待が高まり、ドイツ国債利回りなど主要金利は低下しました。一方で、米国では財政赤字拡大や国債増発に伴う需給悪化懸念が意識され、長期ゾーンの金利低下は限定的となり、イールドカーブはフラット化傾向が継続しました。

秋から年末にかけては、米国経済の底堅さが再評価され、特に雇用市場や個人消費の強さが確認され、FRBの利下げ開始時期が後ずれするとの見方が広がり、米国長期金利は再び上昇圧力を受けました。この動きはグローバルに波及し、欧州やカナダ、オーストラリアなどでも長期金利が上昇基調となりました。また、日本においては金融政策正常化に向けた動きを背景に長期金利が上昇し、グローバルの金利情勢に影響を与えました。結果として、主要国の金利はレンジ内で大きく上下するボラティリティの高い展開となりました。

2026年初から春先にかけては、物価上昇圧力の一段の沈静化と景気減速懸念の顕在化を背景に、主要中央銀行が実際に利下げトレンドへと移行しました。これにより、米国債を中心にグローバルで金利低下が進行、特に長期ゾーンでは景気後退リスクの織り込みが進む形で低下幅は拡大しましたが、2月の終わりから始まった米国によるイラン攻撃が開始されたことからエネルギー価格が急上昇し、インフレ懸念が再燃したことを受け世界的に金利は大きく上昇しました。

この1年間の世界債券市場は、「インフレ収束と金融緩和への移行」という大きなテーマのもと、景気の底堅さや財政要因による上昇圧力と拮抗しながら推移し利下げ局面入りが明確となり、金利は低下方向に収れんする動きとなったものの、2026年2月の終わりには米国によるイラン攻撃が始まり、エネルギー価格（原油価格）の高騰によりインフレ懸念が高まり、今までの利下げトレンドが一転、世界的に利上げトレンドへ転換したことから金利は急上昇し、結局この1年の金利水準はほぼ横ばいという結果となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場の動きは、米欧の金融政策転換期待と景気動向を軸としつつ、2026年2月以降の米国によるイラン攻撃を契機とした地政学リスクの高まりが大きな変動要因として作用する展開となりました。

2025年5月から夏場にかけては、米国のインフレ鈍化と利下げ観測の高まりを背景に、ドルはやや軟調に推移する一方、ユーロや資源国通貨は相対的に堅調でした。しかし6月にはイスラエルによるイラン攻撃を受けて中東情勢が緊迫化し、「リスクオフ」の流れから安全資産としての米ドル需要が高まり、ドルは主要通貨に対して上昇した一方で円は安全通貨としての側面を持ちながらも、金利差やポジション要因の影響から上昇は限定的で、相場の反応は通貨ごとにはばらつきが見られました。

2025年後半に入ると、米国経済の底堅さを背景に利下げ期待が後退し、ドルは再び堅調地合いを強めました。特に欧州や新興国通貨に対しては、成長鈍化懸念や資本流出圧力を受けてドル高が進行した一方で原油価格の変動が為替市場にも影響を与え、資源輸出国通貨（豪ドルやカナダドル）は相対的に底堅さを維持したものの、世界的なリスク選好の変化に応じて上下動の激しい展開となりました。

2026年初にかけては、一時的にドル安方向への調整も見られましたが、2月末に始まった米国によ

る大規模なイラン攻撃を受けて市場は再び大きく変動しました。同攻撃により原油供給不安の高まりが金融市場全体をリスク回避姿勢へと傾かせ、為替市場では典型的な「有事のドル買い」が発生したことからドル指数は上昇、ユーロやアジア通貨は下落圧力を受けました。また、原油価格上昇は輸入国通貨（円やユーロ）に対する下押し要因となり、特に円はエネルギー輸入増に伴う実需のドル買い圧力から軟調に推移しました。

その後、4月以降は停戦期待の高まりを背景に過度なリスク回避が後退し、ドル高の一部巻き戻しが進行、原油価格の上昇も一服し、為替市場はリスクオン・リスクオフの振れを繰り返しながら徐々に安定化へ向かったものの、引き続き情勢は不透明な状況が継続しております。

この1年間の外国為替市場は、金融政策格差を基軸としながらも、イラン攻撃を契機とする地政学リスクが為替レート of 短期的な方向性を大きく左右しました。特に「有事のドル買い」と原油価格上昇を通じた通貨間格差の拡大が特徴的であり、ドルの相対的優位が維持される一方で、エネルギー輸入国通貨や新興国通貨は不安定な推移を余儀なくされた一年でした。

当ファンドのポートフォリオ

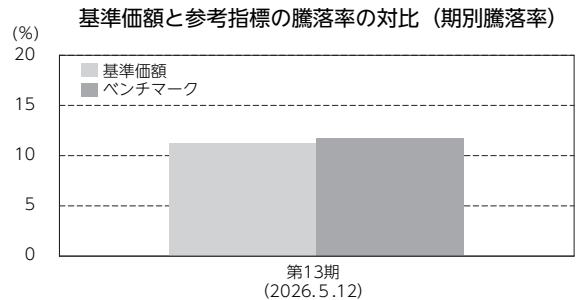
(2025年5月13日～2026年5月12日)

ブルームバーク・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）に連動する投資成果を目標とし、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月13日～2026年5月12日)

期中における基準価額は、11.2%の上昇となり、ベンチマークであるブルームバーク・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）の騰落率11.7%を概ね0.5%下回りました。



(注) ベンチマークは、ブルームバーク・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細はP13をご参照ください。

分配金

（2025年5月13日～2026年5月12日）

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2025年5月13日～ 2026年5月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,156

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、全世界（日本を含む）債券市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

お知らせ

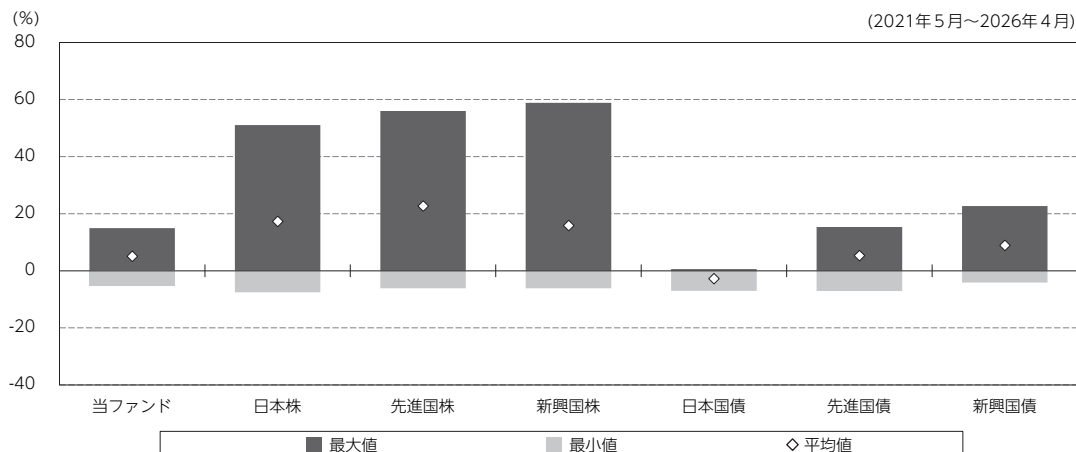
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	無期限（2013年5月13日設定）
運 用 方 針	・ 主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・ ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）とします。（2026年5月12日現在） ・ 市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・ 基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・ 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。
主 要 投 資 対 象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資します。
運 用 方 法	主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分 配 方 針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.9	51.0	55.9	58.8	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 5.3	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	5.1	17.3	22.7	15.8	△ 2.8	5.3	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年5月12日現在)

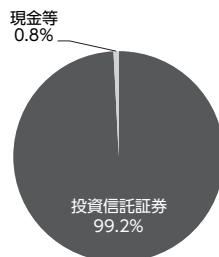
○組入上位ファンド

銘柄名	第13期末
	%
iShares Core International Aggregate Bond ETF	54.8
iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF	44.4
組入銘柄数	2銘柄

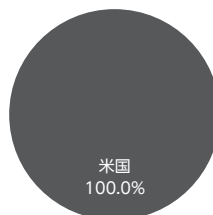
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

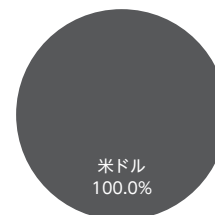
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第13期末
	2026年5月12日
純資産総額	11,061,772,236円
受益権総口数	6,846,749,001口
1万口当たり基準価額	16,156円

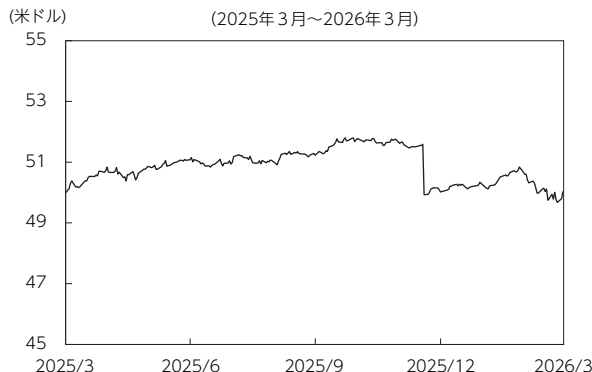
(注) 期中における追加設定元本額は3,818,014,804円、同解約元本額は1,858,981,357円です。

組入上位ファンドの概要

iShares Core International Aggregate Bond ETF

【基準価額の推移】

(2025年3月～2026年3月)



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

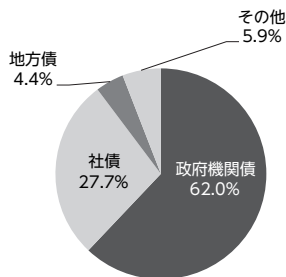
	銘柄名	比率
		%
1	EUR/USD	1.0
2	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7
3	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7
4	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.6
5	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.6
6	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
7	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
8	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
9	CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5
10	CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5
組入銘柄数		7,739銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

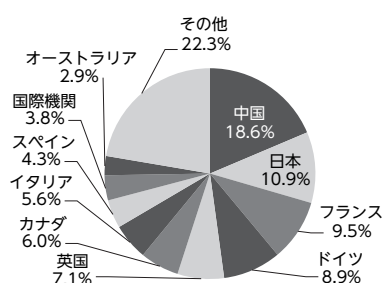
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

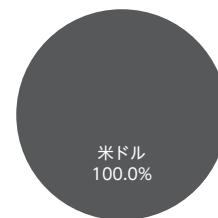
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は債券評価額に対する比率です。

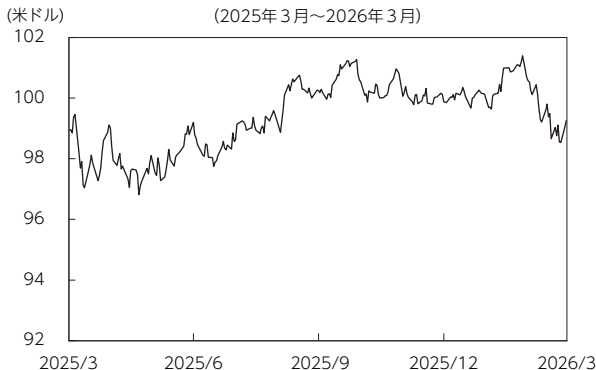
(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF

【基準価額の推移】

(2025年3月～2026年3月)



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

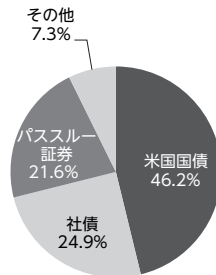
	銘柄名	比率
1	BLACKROCK CASH CL INST SL AGENCY	3.1%
2	TREASURY NOTE	0.4
3	TREASURY NOTE	0.4
4	TREASURY NOTE	0.4
5	TREASURY NOTE	0.4
6	TREASURY NOTE	0.4
7	TREASURY NOTE	0.4
8	TREASURY NOTE	0.4
9	TREASURY NOTE	0.4
10	TREASURY NOTE (2OLD)	0.4
組入銘柄数		13,117銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

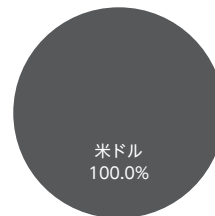
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は債券評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

<当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。

○ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）

ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）は、複数の自国通貨市場のグローバルな投資適格債で構成される旗艦インデックスです。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の可否、特に本ファンドに投資することの可否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、S B I アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはS B I アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、本ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、本ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。